

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。決裁の上はHPへ掲載してよろしいですか

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成28年9月5日（月）

開催時間：11時34分～12時20分

開催場所：全員協議会室

〔出席議員〕

西田議長、平石副議長

足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員

上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員

道下議員、田畑議員、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員

牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市 長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長

教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長

産業経済部長、産業経済部参事、都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長

三隅支所長、教育部長、消防長、上下水道部長(広域行政組合事務局長)

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長 （報道）中国新聞、山陰中央新報社 傍聴者1人

議 題

1 補正予算について

2 執行部報告事項

(1) 浜田市行財政改革実施計画（旧実施計画）平成23～27年度報告について

(2) 浜田市行財政改革実施計画（新実施計画）平成28年度計画について

(3) 敬老会開催日程と長寿者褒章対象者数について

(4) その他

3 その他

【詳細は会議録のとおり】

西田議長 | ただいまから全員協議会を開催する。

1. 補正予算について

西田議長 | この件について、執行部から補足説明は。
(「ありません」という声あり)

2. 執行部報告事項

(1) 浜田市行財政改革実施計画（旧実施計画）平成23～27年度報告について

(2) 浜田市行財政改革実施計画（新実施計画）平成28年度計画について

西田議長 | これら2件について、総務部長。
総務部長 | 報告の前に台風12号について状況報告をさせていただきたい。本日午前9時に気象庁の発表で、対馬近海で熱帯低気圧になったと報告があった。ただ明日6日にかけて大雨になるところがある見込みのため、引き続き注意が必要かと。なおこの12号、当初はかなり影響があるとのことで浜田市が対応しているため、若干報告させていただく。
9月2日(金)夕方、災害警戒本部会議等を開催して各施設への注意喚起、保安要員等の確保について指示を出した。連休に入り昨日は午後1時から、安全安心推進課の職員が情報収集のために出て対応しており、この間防災防犯メール、Twitter、庁内インフォメーション等で注意喚起させていただいた。また小中学校については、4日午後2時の段階で全校休校が決定された。以上、台風12号関連の報告とする。
(以下、資料 (1) (2) をもとに説明)

西田議長 | 議員から質問は。森谷議員。
森谷議員 | 6月議会で西村議員が質問した所もこの辺だったと思うが、まず平成33年で赤字が42億円。だけでも行革でどのくらい改善して17億円とか何億円とか、そういう数字だったと思う。その数字と今回の最終的な12億7000万円が21億円になったということについてだが、その関係を教えて欲しい。

総務部長 | 12億7000万円は中財の数字ということか。27億5500万円ではないか。5年間の実績についてか。これは旧行革の85ページの一番下の数字か。この上の財政の効果額の数字のこれは計画数値で12億7700万円という数字が平成23年度からの5年間の計画値として示したものである。それがローリング等重ねる中で5年間の実績として21億5000万円程度になっている。

森谷議員 | ということは過去の実績5年間で21億円と。この前17億円とか、ふるさと寄附も行革に入れるだ入れないだというのは、これ以後の話との解釈で良いのか。

総務部長 | そのとおりである。

西田議長 | 他に。澁谷議員。

澁谷議員 | 簡潔にお答えいただきたい。この28年の行革効果、相当な金額があるように思うが、それがことによって平成33年から10億円以上の赤字というのは連動的にどのくらい効果があって、33年からの赤字は心配する必要があるのか。その所はどうなっているのか。

総務部長

この数字については行革の中で取り組むということで、目標値として示している。この27億数千万円のうち17億円をふるさと寄附の中で組み込んでいる。進捗管理をしながら中財等の計画をローリングしていかねばならないと思うが、今示しているように29年度以降等の収支状況について端的に黒字になるとかいうことは、この場では申し上げられない。

澁谷議員

議会に対して収入と税の動き、交付税とか特別交付税の動き、事業費の動き、固定費、年度的な経営計画の中で平成33年度まで心配がないという形の提示を議会に示していただかないといけないように思っている。連動性は図って提出される気があるのか。

総務部長

行革に伴う数字というのは今後の中期財政計画の見込みの中で、それぞれ連動させていきたいと思うが、中財の数値が議員のおっしゃるように33年度までの所で収支が整うとかいうことについては、この場では申し上げられないと思っている。しっかりご意見としておうかがいしておく。

西田議長

他に。田畑議員。

田畑議員

23年から28年度の報告ということで。この中には弥栄の振興公社、三隅のゆうひパーク等あるが、27年度で弥栄振興公社が300万強の赤字、三隅がいくらかの黒字になっているとのことで、経営改善に向けた努力はなされていると思うが、28年度からの行革実施計画の中に、弥栄の体験村の弥栄振興公社が記載していないということはどうなるのか。

弥栄支所長

67ページの経営改善計画の着実な履行と、ふるさと弥栄振興公社という部分の内容部分をご覧いただきたい。経営改善計画は一応平成20年から26年までの期間を定めて、その間で着実に履行できる運営を行うということでやってきた。そういう意味においては26年度までは黒字を続けて来られたので、当初A評価にしていたが、27年度は色んな状況によって赤字になったという状況があった。なので、27年度の赤字については28年度以降で赤字が出ないように経営努力していきたいと思っているので、今回の新たな行革には入れていない。

田畑議員

それはおかしな話である。資本金5500万円全額浜田市の出資、そして300万円強の赤字になっている27年度。28年度の交流イベント事業並びに収支予算書を見ると、この赤字にも関わらず役員賞与が分からないが400万円以上の賞与を支給することになっている。これは全額浜田市の出資だから経営感覚を持っておられるとは思いますが、理事長さんあたりの意識がものすごく低いのではないかと。赤字になってきた所にまた浜田市の公金を補填していく格好になっていくのではないかと。支所長が言われるように26年度で終わったからもう良いのだというのではなく、赤字が継続していくような組織や団体であるとか、こういったものについては白黒はっきり付けるような方向性を持たなければ、先ほど同僚議員が言ったが、財政赤字のことを考えたら大変なことになると思う。これは弥栄自治区にとっては大変貴重な施設かもしれないが、赤字になるものをいつまでも抱えておくのはいかがなものかと思う。

弥栄支所長

議員ご指摘のように確かに27年度は赤字だった。でも先ほど申したように20年から26年度の経営改善計画の中では黒字化だったという事実も一方ではある。そういうことの中で28年度については6月に賞与をあげている。今回はその中で100万円の減額をふるさと弥栄振興公社がされた。

300万円の赤字の中の100万円はそこで補おうではないかと職員と話をしながら減額された状況がある。それと28年度9月末で上期が終わるのだが、昨年度の上期の状況と今の経営状況は同じレベルになっている。昨年も9月末までは非常に良かったのだがそれ以降が悪かったということで最終的に赤字になったのだが、中間決済の段階では赤字は見込めなかった。そういう状況があるので、28年度もうちょっと時間をいただいて28年度の状況を見ていただき、色んな意味で。今回は赤字になったが28年度以降は赤字にならないよう努力もされているので、その様子を見守っていききたい。

田畑議員

300万円強の赤字が、300万円以上のお金が役員の賞与にいつている。これゼロにしたら黒になるかも分からない。そういった所が経営改善ではないのか。一生懸命頑張っておられるのは間違いないと思うが、あまりにも酷い。この資料を見ると。内容は別として資料だけを見ると、100パーセント出資していただいている所におんぶに抱っこされている気がする。その辺は重々注意しながら現場を確認していただきたい。

弥栄支所長

議員おっしゃること充分に理解している。充分踏まえながら28年度しっかりやっていきたいと思っているし、28年度6月の賞与の話をしたが、もし中間報告の中で悪い状況があれば12月賞与についても考えざるを得ないと思っている。ご理解をお願いしたい。

西田議長

他に。足立議員。

足立議員

報告の631番の広域事業負担金の縮減についてで、浜田地区広域行政組合に対する負担金を削減した、総合評価Aになっている。これについては内容に記載があるように、高齢者人口が増えていて要介護者も増大する中で、にも関わらずプロパー職員の退職者不補充もしながらやっているという部分で、評価は一定程度理解は出来るが、28年度計画にはこの部分が書いてないように私は思う。今後28年度以降、例えば居宅介護支援事業所が県から市へ下りてくるのが平成30年度だった気がする。そういった中で現在の人数及び今後の広域行政組合が本当に機能していくのか大変疑問なので、その点についてお尋ねしたい。

健康福祉部長

おっしゃった点は需要がまた拡大するのではということだと思う。まだ現時点でその辺を見込んで、組合と両市とが具体的にまだ話をしていないので、なるべく早くそうしたことを視野に入れて、先の体制について検討する必要があると思う。

足立議員

今から検討と言っても、平成29年度から準備しておかないと平成30年度から、仮に居宅介護支援事業所の指導監査が広域行政組合に下りてきた時にまともに機能しないのではないかと私は思う。何でもそうだが準備が遅い。28年度から取り組んでいただけるのかと思ったらそれも今からやるという話なのだが、本当にこれで介護保険制度が適切に運営できるのかはなはだ疑問だ。もう一度答弁をお願いする。

健康福祉部長

議員がご指摘のところは齟齬が起きないように、ちょっと遅いというご指摘もあったが対応していきたい。

総務部長

23年度からの5年間の計画で特に効果が出ているのは、介護保険のところではなく不燃物処理場の運営費にかかる部分がかかなりのウェイトをしめている。その辺でこの縮減額が出ているとご理解いただきたい。

それから後段で言われた法人の審査の関係について、広域行政組合か

西田議長 からも人事へ色々相談を受けており、29年度以降の人事配置の中でそれぞれ検討していかなければならないと思っている。
他に。
（ 「なし」という声あり ）
西田議長 無いようなので、この件については終了する。

(3) 敬老会開催日程と長寿者褒章対象者数について

西田議長 この件について、健康福祉部長。
健康福祉部長 （ 以下、資料(3)をもとに説明 ）
西田議長 議員から質問は。
（ 「なし」という声あり ）
西田議長 無いようなので、この件については終了する。

(4) その他

西田議長 この件について、地域政策部長。
地域政策部長 追加資料のチラシをお配りしている。
（ 以下、チラシ「地域活性学会第9回研究大会」をもとに説明 ）
西田議長 議員から質問は。
（ 「なし」という声あり ）
西田議長 他に執行部から報告事項は。
（ 「なし」という声あり ）
西田議長 議員から質問は。
（ 「なし」という声あり ）
西田議長 無いようなので、執行部はご退席いただいて構わない。

《 執行部退室 》

3. その他

西田議長 その他、事務局長から。
三浦局長 個人一般質問のケーブルテレビ放映は別紙のとおりのため、ご確認いただきたい。お手元に地域井戸端会の資料を配布している。芦谷委員長から若干説明がある。
（ 以下、資料をもとに説明 ）
芦谷委員長 質問は。澁谷議員。
西田議長 ポスターは前回と同じ色合い。チラシだと大変センスが良いのだが、
澁谷議員 ポスターになると、貼っていると風景の中に埋没する。もっと原色と言うか、選挙ポスター同様に強い色と弱い色を使って行かないと分かり難い。今回は仕方ないが、次回から検討をお願いしたい。
芦谷委員長 検討する。
西田議長 他に。
三浦局長 午後からの進行の関係だが、常任委員会が開催されるがその前段で正副委員長に進行関係を確認したい。1時に各常任委員会の正副委員長は議長室にお集まりいただき、協議した後の1時半から常任委員会開催ということで、進行させていただきたい。
西田議長 全体を通じて何かあれば。

西田議長

(「なし」という声あり)
ないようなら、以上で全員協議会を終わる。

[12 時 20 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 西 田 清 久